

平成29年度末における第1次飯田市下水道事業経営計画進捗状況について

別紙2

1. 事業別進捗状況と今後の実施方針

(1) リニア事業等への対応【継続中】

計画：土地利用計画との整合や関係機関との連携によって効率的な整備や、今後、変更される土地利用基本方針に基づく飯田都市計画公共下水道計画区域の変更等が必要になった場合は、必要な措置を講じる。

実績：関係部署と調整中

方針：引続き取り組む

(2) 長寿命化対策（予防保全型の維持管理）【継続中】

①管路（飯田処理区 第1期計画）

計画：耐用年数を経過した施設の詳細点検を行い、管路の長寿命化のため管更生工法にて改築をする。改築延長 L=6.7 km

実績：L=4.1 km（2016（H28）年度末）、L=5.5km（2017（H29）年度末）

2016（平成28）年度に事業費の平準化を図るため、第I期計画を延長した。

【2014（平成26）年度～2018（平成30）年度から2014（平成26）年度～2020年度へ】

方針：2021年度以降はストックマネジメントにて実施。

②松尾浄化管理センター

計画：汚泥脱水機1号・2号、用水砂濾過設備、中央監視施設ほか

実績：汚泥脱水機1号、用水砂ろ過設備完了。

2017（平成29）年度～2018（平成30）年度汚泥脱水機2号、流入ゲート設備工事（実施中）

2016（平成28）年度に事業費の平準化を図るため、第I期計画を延長した。

【2013（平成25）年度～2017（平成29）年度から2013（平成25）年度～2019（平成31）年度へ】

方針：2021年度以降はストックマネジメントにて実施。

(3) 地震対策（被災リスクの軽減）【継続中】

①管路 2013（平成25）年度に飯田市下水道総合地震対策計画（第I期計画）を策定し2014（平成26）年度から管口の耐震化等を実施

計画：148箇所（耐震化予定箇所数）、17基（人孔浮上対策予定個所数）、7基（人孔再構築予定個所数）

実績：44箇所（2016（平成28）年度末の耐震化実施箇所数）、67箇所（2017（平成29）年度末の耐震化実施箇所数）、122箇所（2018（平成30）年度末予定の耐震化実施箇所数）

2016（平成28）年度に人孔浮上対策及び人孔再構築の追加により、第I期計画を延長した。【2016（平成26）年度～2018（平成30）年度から2016年度～2020年度へ】

方針：第II期計画は2018（平成30）年度中に策定予定

②松尾浄化管理センター

計画：2013（平成25）年度に管理棟耐震診断を実施し耐震化の必要性を判断

実績：2015（平成27）年度に管理棟耐震化完了、2017（平成29）年度～2019（平成31）年度に塩素滅菌池耐震対策を実施

方針：ストックマネジメントへ移行予定

③緊急時における対応

計画：日本下水道管路管理業協会との応援協定締結、国・県・市町村との応援体制の拡充

実績：2017（平成 29）年度に日本下水道管路管理業協会（中部支部長野県部会）と
飯田市上水道施設等の緊急事態発生時の対応に関する協定を締結
方針：引続き取り組む

（４）地方公営企業法の適用【次のステップへ】

計画：2016（平成 28）年度から地方公営企業法の財務規定を適用し企業会計方式に
移行する

実績：2016（平成 28）年度適用済

方針：下水道事業の持続性について経営の面から捉え、経営状況の透明化と情報共
有を行い経営の安定化を図る

（５）水洗化のさらなる普及促進による、公衆衛生の向上と生活環境の改善

①集合処理区域内の水洗化促進【継続中】

計画：○戸別訪問件数 1,700 世帯（専門員 1,500 世帯、休日等 200 世帯）、広報いい
だ1回、飯田FM1回(年間計画)、○促進のための各種補助制度の利用促進

実績：○2014（平成 26）年度～2017（平成 29）年度実施内容・件数等

水洗化促進専門員による年間を通じた戸別訪問世帯数 2014(平成 26)年度～
2017(平成 29)年度 6,805 世帯、下水道課・下水浄化センター及び経営管理課職
員による戸別訪問世帯数 2014(平成 26)年度～2017(平成 29)年度 802 世帯、「広
報いいだ」へ特集記事掲載による広報活動 4 回（毎年 1 回）、飯田 FM 広報 4 回
（毎年 1 回）、まちづくり委員会での啓発 3 回（2014(平成 26)年度～2016(平成
28)年度）、農集排施設管理組合連絡協議会での啓発 4 回（毎年 1 回）

○促進のための各種補助制度の利用促進（利子補給事業）

2014（平成 26）年度～2017（平成 29）年度 14 件、68,706 円

方針：引続き取り組む

②合併浄化槽の設置推進【継続中】

計画：飯田下伊那地域循環型社会形成推進地域計画に基づき設置経費に補助
2014（平成 26）年度～2017（平成 29）年度 249 基、136,050 千円

実績：戸別訪問による設置促進、浄化槽国県補助・市単分設置実績

2014（平成 26）年度～2017（平成 29）年度 233 基、135,500 千円

方針：引続き取り組む

③合併浄化槽特別補助【終了】

計画：特別補助期間（2014（平成 26）年度～2016（平成 28）年度）

実績：設置補助 10 件

方針：2016（平成 28）年度にて終了

（６）適切な施設の維持管理【継続中】

計画：施設機能低下の防止、ライフサイクルコストの低減、持続可能な維持管理体制の保持

実績：長寿命化対策による整備により施設機能低下の防止、コストの低減を行った。

方針：引続き取り組む

（７）下水道事業のあり方検討【継続中】

計画：①集合処理区域の見直しや、処理施設の統廃合検討

②川路・竜丘浄化センターの効率化検討

③財政計画において中長期的な財政シミュレーションを行う

実績：①②集合処理区域の見直しや、処理施設の統廃合検討を実施

③10年の収支計画を毎年ローリングし見通しを把握（経営戦略の収支計画で実施）

方針：引続き集合処理区域の見直しや、処理施設の統廃合検討を行う

(8) 災害対策

①下水道事業(管渠)BCP【次のステップへ】

計画：2016（平成28年）度までに策定する

実績：長野県主導による共同研究（県、市町村、日本下水道新技術機構との共同研究）の手法を取り入れ、飯田市下水道BCP（網羅版）【公共、特環、農集】を2016（平成28）年度までに策定済

方針：飯田市BCPが策定されたら内容等の精査・修正（連携）を行う予定

②緊急連絡体制、その他の対応【対応中】

計画：連絡体制等の再確認、緊急用ライフラインの確保

実績：毎年10月に近隣自治体及び協力会社との災害想定訓練を実施

方針：引続き取り組む

③「飯田市地域防災計画」と「飯田市下水道総合地震対策計画（第Ⅰ期）」のリンク【対応中】

計画：継続的に計画の点検・改善を行い、危機管理体制の強化を図る

実績：危機管理対策室との調整を行い、最新の「飯田市地域防災計画」の内容を「飯田市下水道総合地震対策計画（第Ⅰ期）」の計画変更に合わせて、関連する防災拠点や避難所の項目の見直しを図った

方針：引続き取り組む

(9) 下水道施設管理

①ストックマネジメントの取組【対応中】

計画：策定に向けて業務委託発注方法や取りまとめ方法について取り組む

実績：2018（平成30）年度～2020年度にて策定に取り組むための業務内容、発注方法の精査を実施

方針：2020年度中に策定予定

②その他事項【継続中】

計画：新設（布設替）・改築による下水道情報を施設管理システム（GIS）データへ入力補正を行い、事業効率の向上を図る

実績：施設管理システムのデータ更新は随時実施した

方針：引続き取り組む

(10) 雨水排水対策の推進【継続中】

計画：雨水浸透ます・雨水貯留槽の設置補助期間の延長、雨水排水路現況調査実施

実績：○2014（平成26）年度～2017（平成29）年度の設置基数

雨水浸透ます 164基、雨水貯留槽 165基

○松尾・鼎地区（雨水認可区域≒507ha）の雨水排水路現況調査が完了

方針：雨水浸透ます・雨水貯留槽の設置補助については引続き取り組む

(11) 共同管・個人管への対応【継続中】

計画：共同管等の老朽化対策について実態を把握し、対応の検討を始める。

実績：飯田処理区の認可区域内における未整備路線（57路線）の現状把握

方針：引続き取り組む

(12) 専門技術者の育成【継続中】

計画：専門的な知識や技術の蓄積と継承と管理運営能力の向上

実績：下水道事業団等の技術講習会へ毎年参加

方針：引続き取り組む

(13) 再生可能エネルギーへの取組

①消化ガス発電増設【次のステップへ】

計画：3基からさらなる増設を行う（計画では数値表記なし）

実績：2016（平成28）年度4基増設（計7基）

方針：余剰消化ガスの状況を把握し、さらに増設可能か今後も検討を行う

②その他事項【継続中】

計画：再生可能エネルギー等の情報収集を行い、低炭素社会づくりに取り組む
実績：費用対効果も踏まえた、再生可能エネルギー等の情報収集を行っている
方針：引き続き取り組む

(14) 経営基盤の向上に向けた使用料の適正化等

①適正化検証【2016（平成 28）年度実施済】【継続中】

計画：2015（平成 27）年度（3年おき）に使用料の適正化検証を行う
実績：2016（平成 28）年度の経営戦略策定に併せ、使用料の適正化検証を行った
方針：引き続き取り組む

②経営基盤の安定化【継続中】

計画：「下水道事業経営戦略」を策定する
実績：2016（平成 28）年度に、「下水道事業経営戦略」を策定した
方針：3年ごとのローリングを基本とするが、料金改定検証に合わせ 2018（平成 30）年度に第1回目のローリングを行う予定

(15) 積極的な情報公開と地域との協働【継続中】

計画：下水道事業の役割や経営状態に関する広報活動を継続及び市 Web サイトにて公開
実績：経営戦略、運営審議会議事録等の飯田市 Web サイトでの公開
方針：下水道事業の広報活動について見直しを含めて検討を行う。
また、2019（平成 31 年度）に上下水道局 Web サイト(新)を開設し、上下水道事業についての「見える化」を進める予定